



芸術と憲法を考える連続講座 vol.13

憲法を活かす世界の人々

社会変革の先頭に立つ芸術

世界82か国を取材したが、人間が思いを自由に表現できる社会ほど、人々は幸せそうだ。革命など社会変革の先頭には、民衆を鼓舞する芸術家がいた。軍隊を禁止したコスタリカは、国そのものが芸術のようだ。

国際問題ジャーナリスト・伊藤千尋さんが、世界の旅から戻り縦横無尽に語り尽くす、元気の出る憲法のお話。



講師 ^{いとうちひろ}伊藤千尋さん

プロフィール： 1949年、山口県生まれ、東大法学部卒。
在学中にキューバでサトウキビ刈り国際ボランティア、
73年卒業し東大「ジプシー」調査探検隊長として東欧を調査。
74年朝日新聞に入社し、世界各国の特派員を歴任。2014年から
フリーの国際問題ジャーナリスト。NGO「コスタリカ平和の会」共同代表、
「九条の会」世話人。『9条を活かす日本』など著書多数。



日時: 2019年1月11日(金) 18:30-21:00

場所: 東京藝術大学上野キャンパス

(開場 18:15)

音楽学部 5-109 教室 (台東区上野公園 12-8)

※入場無料、申込不要。藝大生も一般市民も、どなたでもご参加いただけます。

お問い合わせ kenpou.geidai@gmail.com (川嶋)

イラスト 瀬辺茂

主催 東京藝術大学音楽学部楽理科・後援 日本ペンクラブ

共催 自由と平和のための東京藝術大学有志の会

